保証書 Multifunctional Light 用スマートコントローラー					
品番	LGTAR-100	製造番号			
お	 お名前				
客	客 ご住所 〒 電話番号([][[][[][]]]) [][][] — [][[][]] お買上げ日 取扱販売店名・住所・電話番号				
様					
[_][_][_]年 [_][_] _月 [_][_] _日 (_][_] _日 (_][_][_] _日 (_][_] _日 (_][_][_] _日 (_][_][_] _日 (_][_][_] _日 (_][_][_][_] _日 (_][_][_][_] _日 (_][_][_][_][_] _日 (_][_][_][_][_][_][_][_][_][_][_][_][_][_					
	本体 1年				
●お客様へのお願い					

<無料修理規定>

● ご販売店様へ

1.保証期間内に正常な使用状態で故障し無料修理を依頼いただく場合は、受付窓口(お買い上げ販売店または本書に記載のMFLサービス相談窓口)にご相談いただき、以下の要領で持込修理または引取修理のいずれかを選び本書の提示・提出をお願いいたします。

持込修理:持参した製品の修理依頼の際に提示引取修理:製品の引取時に指定業者へ提出 (販売店へので依頼が難しい場合は、MFLサービス相談窓口にご相談ください。)

お手数ですが、で住所、お名前、電話番号をわかりやすくこ記入ください。

お買上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

- 2.持込修理をご依頼後、お客様のご要望により引取修理 に変更する場合は、別途所定の料金を申し受けます。 3.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- (イ) ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故 障および損傷
- (口) お買い上げ後の取り付け場所の移動、移設、落下 など及び他の機器から受けた障害などによる故障 および損傷
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、 公害や異常電圧、その他外部要因による故障およ び損傷
- (二) 一般家庭用以外(業務用の長期間使用など)に使用された場合の故障および損傷
- (ホ) 消耗部品及び汚損した部品の交換
- (へ) 本書のご提示がない場合

修理メモ

(ト) 本書のお買い上げ日、取扱販売店名、住所・電話 番号の欄に記入のない場合及び字句を書き替えら れた場合

*	修理の際、	再生部	品・化	(替部	品を使	用する	る場合が
	あります。	(修理	により	り交換	した部	品は、	弊社が
	任意に回収	との上、	適切は	こ処理	• 処分	させて	いただ
	キヰォ)						

- ※ 故障の状態などにより、修理に代えて製品交換を 行う場合があります。
- ※ 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品の保証期間は、お買い上げ日からの保証期間が 適用されます。
- ※ 故障が原因でお買上げの製品が使用できないこと で発生した損害については、補償いたしません。
- ※ 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障 の際または修理・交換により記録内容が消失等す る場合がありますが、記録内容についての補償は いたしません。
- ※ 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに おいて無料修理をお約束するものです。従ってこの 保証書によって保証書を発行しているもの(保証責 任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法 律上の権利を制限するものではありません。
- ※ お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内 のサービス活動及びその後の安全点検活動のため に記載内容を利用させていただく場合がございま すので、ご了承ください。
- ※本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に 保管してください。
- ※ お問い合わせ先: MFLサービス相談窓口

フリーダイヤル: 0120-372-533

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、

03-5796-6286 保証書発行元 : オリオン株式会社

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

Printed in China

Multifunctional Light 用スマートコントローラー

LGTAR-100

取扱説明書



この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

付属品をお確かめください。









壁ホルダー×1

単4形乾電池×2

壁ホルダー取付用木ねじ×2

取扱説明書(本書)

安全上のご注意

で使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所にかならず保管してください。

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上かならずお守りください。

҈ 警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。





- 分解や改造をしない
- 火災や感電・落下によるけがの原因となります。
- お客様による修理は絶対にしないでください。
- ・ショートさせない
- ・温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しない
- 幼児やペットに誤って触らせない

乾電池の取扱いについて

●乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂するおそれがありますので次のことをお守りください。



- ●ショートさせない
- ●(⊕/Θ)の表示どおりに入れる
- ●指定以外の電池を使わない
- ●種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ●使い切った電池はすぐに取り出す
- ●長期間使わないときは取り出しておく

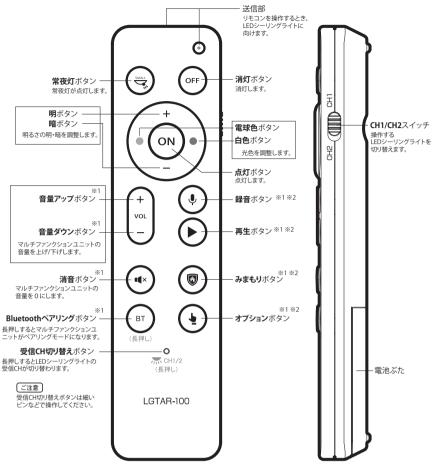
注意使い切った電池長期間使わない万一液漏れしたら

- ●液をよくふき取る
- ●液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流す

ご注意

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

各部のなまえ

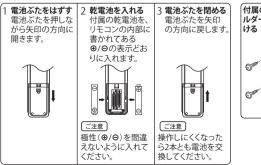


- ※1 マルチファンクションユニットの操作ボタンです。 ※2 ご購入いただいた機種によって、ご利用が異なります。
- ※1,※2の詳細については、マルチファンクションライトのホームページをご確認ください。

リモコンに乾電池を入れる

壁ホルダーの使い方

単4形乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池のマイナ ス側を先に入れてください。



「付属の木ねじで壁ホ | 壁ホルダーにリモコ | リモコンを操作する ルダーを壁に取り付 ンを入れる 壁ホルダーにリモコ ンを入れた状態でリ モコンを操作できま す。リモコンが効き にくい場合は、壁ホ ルダーから外し送信 部をLEDシーリング ライトに向けて操作 してください。

- ・雷池に表示されている注意事項をお読みください。
- ・電池はふつうの使い方で6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。 操作しにくく なったら交換してください。

チャンネルを設定する

チャンネルを変更すると、2台のLEDシーリングライトを1つのリモコンで別々に操作できます。

・お買い上げ時(工場出荷時)は、LEDシーリングライトとリモコンのチャンネルは「1」に設定されてい ます。

LEDシーリングライトとリモコンのチャンネルを「2」にする

リモコンでLEDシーリングライトが操作できるか確認する

・リモコン側面の CH1/CH2スイッチをCH1側にして、点灯・消灯等の操作ができれば、LEDシー リングライトのチャンネルは「1」の状態です。

受信CH切り替えボタンを1秒以上押し続ける

「ピーッ」と音が鳴って、LEDシーリングライトのチャンネルが「2」に変更されます。

ご注意

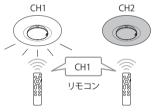
再度設定を変更する場合は、手順2の操作を繰り返してください。 繰り返すたびにLEDシーリングライト のチャンネルは、「 $1\rightarrow 2\rightarrow 1$ ・・・」と変更されます。

リモコン側面のCH1/CH2スイッチ をCH2側にして、リモコンでLED シーリングライトが操作できるか 確認する



2台のLEDシーリングライトを1つのリモコンで個別に操作する

- ・2台のうち1台のLEDシーリングライトを上記手順1~3に従い、LED シーリングライトのチャンネルを「2」にしてください。
- ・LEDシーリングライトが2台設置されていて、それぞれの本体チャ ンネルを「1」「2」にする場合、1台のLEDシーリングライトの壁 スイッチをオフにしてから、上記手順1~3に従い操作してくださ (,)



故障かな?と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。 修理を依頼される前に、下記の内容をご確認ください。

IN TELEVINE IT OBJECT THE PROPERTY OF THE PROP				
リモコンでLEDシーリングライトが操作できないとき				
主な原因	チェック項目			
リモコンに電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。			
リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。			
リモコンの送信部がLEDシーリングライトに向いていない。	リモコンの送信部をLEDシーリングラ			
	イトに向けてください。			
LEDシーリングライトとリモコンのチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。			
LEDシーリングライトの壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにしてください。			

仕様

電源	DC3V (単4形乾電池×2)
外形寸法 (リモコン本体のみ)	200 (高) ×50 (幅) ×22 (奥行) mm (突起部を除く)